

Vol.
6

父親のレコードがチェロとの出会い

チェロ首席 小川 和久 (おがわ かずひさ)



Q チェロに出会ったきっかけは？

A 父親がいろんなレコードを持っていて聴かせてもらっていたのですが、10歳頃、ロストロポーヴィチとマルタ・アルゲリッチの録音で、ショパンの「チェロソナタ」や「序奏と華麗なるポロネーズ」が入ったレコードが相当気に入って、チェロに惹かれてチェロを弾きたい！と思いました。チェロを始めたのは11歳からです。

Q チェロの魅力を教えてください。

A なんといっても音色です。すごく温かい。肉声に近い音で、音域がすごく広い楽器なんです。5オクターヴ出ます。

Q 山形の最初の印象を教えてください。

A 2010年2月のモーツァルト定期に客演で呼んでいただいたのが最初で、古いものと新しいものが共存していて、町並みが素敵だなあと。その時は雪がかなり多かった時期でしたが、山形は四季折々を楽しめる所ですよ。おいしいものもいっぱいありますし。肉、ラーメン、蕎麦、海産物、野菜、そして米！

Q 山形でお気に入りの場所やものはありますか？

A 西蔵王の展望台で、ぼーっとするのが好きですね。気分転換になります。

Q 現在の使用楽器について教えてください。

A フランスの楽器なのですが、前置きを長くしますと(笑)、有名なアマティの弟子で、かの有名なストラディバリと同期のフランス人の楽器職人、Jacques Boquay (ジャック・ボケ) の1720年にパリで作られた作品です。高1のときに会ってからずっと使っています。

Q 休みの日は何をしていますか？

A 基本、我々は土日とかなく、休みの日が日曜日という感じなんです。趣味が多いんです。スキー、ゴルフ、ビリヤード、ボウリング、ダーツ…もちろん練習もしますし、あとは買い物に行ったり。家にあまりじっとしてられないタイプなので、何かしらしますね。逆に、それをするために休みを作っているのかもしれないです。

Q 好きなチェリストは？

A チェロを始めるきっかけとなったロストロポーヴィチももちろん好きなんです。ダニール・シャフランの演奏がたまらなく好きです。1音か2音聴いただけで彼の音とわかる、個性があるんです。ヴァイオリンで言えば、イヴリー・ギトリスのような演奏家にあこがれます。

Q 好きな作曲家は？

A バッハ、ブラームス、ラフマニノフ、ラヴェル、ドビュッシー、イザイも好きです。

Q 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

A 今回、チェロ・セクションで開演前に演奏しましたが、来年度もロビーコンサートを始め、楽しい企画で皆様が気軽に楽しめるようなコンサートも行っていきたいと思っています。定期演奏会も2日公演になります。少しでもみなさんの心に残るような演奏ができるよう頑張ります。

今回は、井上直樹さんです